
桜散る物語

夢桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜散る物語

【Nコード】

N1670W

【作者名】

夢桜

【あらすじ】

この物語はオリ主によるオリジナルストーリーになります。キャラクターは他作品からの出演・・・ほのぼの、時々シリアスに・・・物語は進んでゆく

設定

桜木 さくらぎ 刀哉 とうげ

17歳

武器：千本桜

武器の開放には力を大きく消費するため、多様はできない

夢桜学園、高等部2年の学生。自分が学園に来る前まで記憶を持たず、名前と刀のことだけしか知らない

性格は基本的に温厚だが、気まぐれな部分も多い。

今は夢幻寮に世話になっており、その寮長はやてとの繋がりでののはやフェイトとも仲が良い。基本的に部屋は一人ではなく複数で使用するようにできているため広く作られている

任務ではアリアやキンジと任務を行うこともある。一年のライカとは何故か気が合う様子

普段は大河や竜児とバイトをしたりもしている。rエリオの相手

始まりの桜*前編*

「お……」

ん？……誰だ……

「おーきーろー」

この俺の眠りを邪魔するのは誰か知らないが、とりあえず放置だ放置……

「起きろって言うてんでしょーが!」

瞬間、腹部に激痛が走る

「ぐおっ……!」

「どっ？起きた？」

「起きた……？死ぬところだったわ!」

腹を押さえながら俺は言う

「最初に言ってるうちに起きないアンタが悪いんだからね!」

「くそっ……大河のやつ……うえ……吐きそっ」

「朝ごはんできてるみたいだから、早く降りてきてね」

「はいはい……はあ……」

俺は溜息を吐きつつ身支度を整える

「カキカキ……（おはよう）」

「ん？ああ、ユーか、おはよう」

コノ銀髪の女の子はユー、いつもメモメモ……まあ、こんなところだ

「今日の朝飯は竜児と歩だったか？他の連中はまだ寝てるのか？」

もうすでに鞆を持っている二人に尋ねる

「バカ、もうみんな行ったっつーの……竜児、早く行かねーと遅刻するぞー」

「わかった、今行く」

ん？一人……絶対に起きていないのがいるぜ……

「おい、お前らエ」「俺ら先行ってるぞー!!」「」

はあ……、仕方ねえ起こしに行くか

そう心の中で呟くと上へと上がっていく

「エリオー！とつとと起きろー」

「もふ……」

もふ……！？相変わらず良くわからん言語だ

「仕方ない……担ぐか」

そういつて簀巻き状態のエリオを抱え下に下りていく

「とうにー、これー」はいはい、とりあえず飯食えって」

こうして俺の朝は始まる

「エリオは家にいるって言うし……まあ、はやてもなのはさん
もいるから平気か……」

俺は遅刻したいわけでもないので全力で走る……すると目の前を
小柄な黒髪の……ちびっ子が走っているのを確認した

「よっ、シヤナも寝坊か？」

「違う！……ちよつと時間を間違えただけ……／／／／」

「なんの？」

「……目覚まし時計」

あ、寝坊か……とりあえず心の中で頷いておく

それよりも急がないとな

.....

「はぁ……今日もまた授業が終わりこれで、俺は自由だぁ……」

そう言って背伸びをしていると目の前を大河が歩いていくのが見え
たので着いていく

その後、他愛もない会話をしていると、ようやく家についた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1670w/>

桜散る物語

2011年10月9日01時23分発行